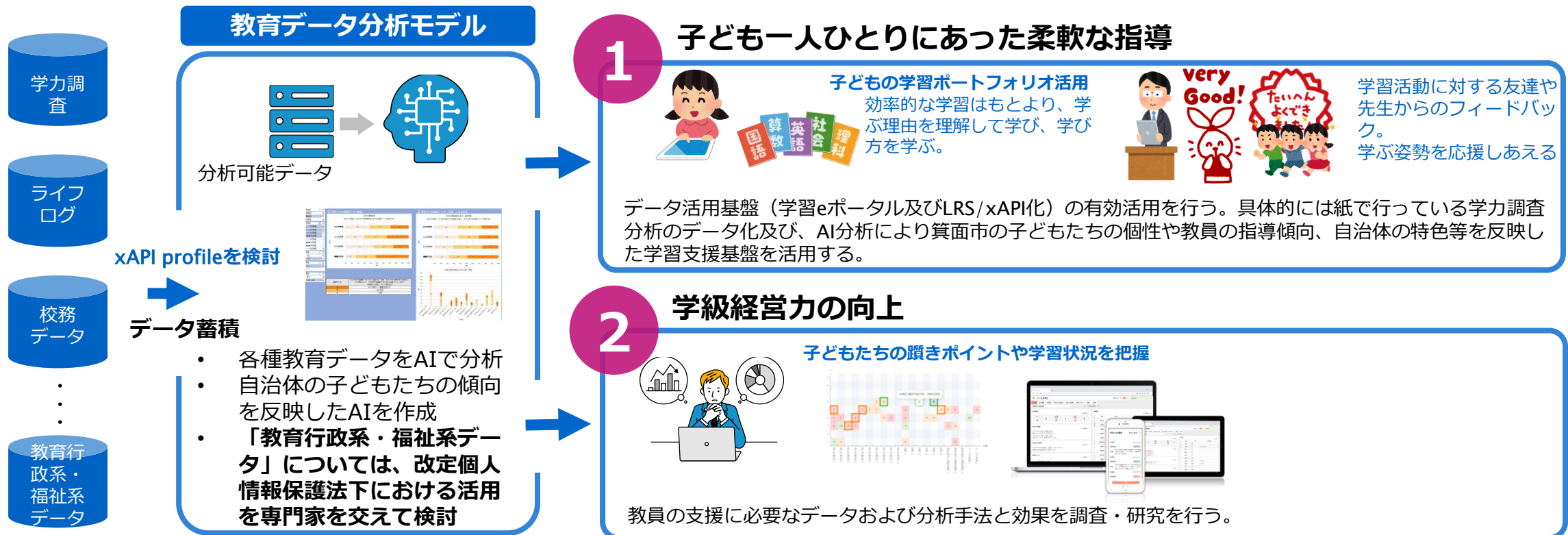


取組み全体の概要

学力、体力、生活習慣といったバランスのとれた教育を推進し、
総合的な人格の形成、豊かな人間力を育む教育を実現するために

※箕面市教育大綱〈2021-2024〉

蓄積しているデータ（ベテラン教員の技能やノウハウ）のデジタル化と活用を進め、
教員の働き方改革、子どもたちの学び方改革を進める



取り組み1：子ども一人ひとりにあった柔軟な指導

● 目的：

児童生徒の多面的・多角的な理解を深めるために、学習面と生活面に関するスタディログを分析し、学習の支援が必要な児童生徒に対する柔軟な指導を実現する

● 取り組み内容：

(1) 学習面と生活面に関する様々なスタディログを組み合わせて分析するためのデータの標準化を検討、データを活用できる基盤を整備

(2) 観点として以下の3つを設定し、それぞれ分析を実施

(a) 学習面：

学力データの可視化、および学力の伸び悩みとそれに影響した要因の分析

(b) 学習面×生活面：

学習が習慣化されていることと、学力の定着および学習意欲の関連について分析

(c) 生活・健康面：

質問紙調査による全体把握と、日々の気持ちの変化による個別の傾向把握

(3) 大学有識者、教育委員会、教員からの肯定的なフィードバック

学力の変容を可視化し個別の状況を把握することは、教育現場における指導計画の見直しや、児童生徒一人ひとりに応じた学びの支援に有効に機能することが期待される

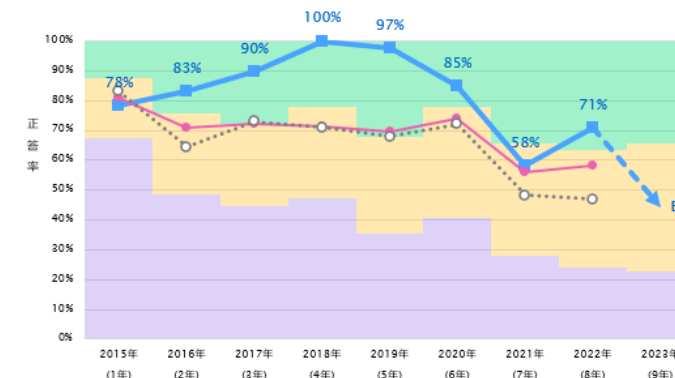
● 課題と今後：

様々なスタディログを活用することにより、児童生徒の学習状況や理解状況について、客観的なデータとしての把握が可能であることを確認した。

課題としては、学力調査やテスト結果の収集・分析に時間がかかることがあげられる。データを簡単に手に入れて、活用を続けられるような仕組みが必要である。具体的には、学習指導要領コードやそれを補完するコードを活用することが考えられる。また、MEXCBTなどCBTの活用を推進することにより、データの収集・分析の効率化が図れるものとする。

● 成績推移(領域別)

A 数と計算/数と式



(2) (a)学習面 で提示した学力データの推移

● 振り返りおすすめ単元

履修学年	単元	小単元	優先度
中学2年生	図形の性質	証明の意味と方法	高
中学2年生	平面図形	多角形の角の性質	
中学1年生	平面図形	回転移動	
中学1年生	平面図形	平面図形(知識技能)	
中学1年生	平面図形	図形の移動と関係の考察	

(2) (a)学習面 で提示した振り返りおすすめ単元



取り組み2：学級経営力の向上

・ 目的：

「学級がうまく機能しない状況」の課題の明確化と解決方法としてユースケースの創出、その実現可能性の確認を行う

・ 着目課題：

予防的アプローチがそれぞれの関係者にとって必要であることが分かった
また、ICTとデータの利点が活かせる「早期発見」を着目課題とした

・ ユースケース：

生徒指導や管理職、学年主任などの先生が、データの分析と可視化によって、ケア/注意すべき学級のアラートを見て様子の確認など対応を行う

- ① 学級がうまく機能しない状況になるまえに予防、対策の検討を行う
- ② 普段気にかけている学級以外にも、追加でスクリーニングをかけ早期発見を行う

・ 分析観点：

アプローチ①

選んだ項目とアンケートデータから、予め定めたルールでアラートを出す
右図は心の健康観察の回答をクラスごとに平均して可視化したもの

アプローチ②

多様なデータを日々収集/分析してアラートを出す スコア化は分析面の課題あり

・ 学識からのフィードバック：

- ・ 取り組み全体に対して、違和感や抜けている観点もなく、着目課題も適切である。「予防」のための取り組みが重要
- ・ データ分析と方向性は合っているため、予測値の精度や正確性を上げるためより多くのデータから分析することが必要
- ・ データが活用されるためには管理職ではなく担任教員レベルでの理解される必要がある

週ごと、学級ごとの気分の平均の変動可視化

